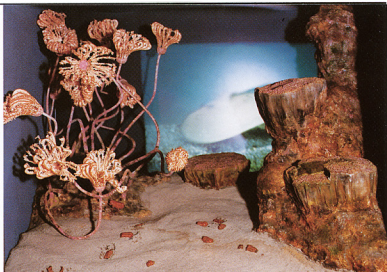


# 地質標本館展示 「生きている化石」

尾上 亨 (地質部)  
Toru Onoe



生きている化石は 現在から過去を知る鍵です。それらと近縁の化石については 生きている化石からの情報によってかなり実体を探ることができる筈です。その意味で これらの化石は いわば過去の世界への入口の扉にかけられた錠であり 適切な鍵を得てはじめて さらにその奥を知ることが可能になるものといっ

\* \* \*

てよいでしょう。 [生きている化石解説展示から]  
下の写真は「生きている化石」展示コーナーの全景で地質標本館 第1展示室の1コーナーを占めている。この写真の左の大きなカラーコルトンは「生きてい

る化石」の代表的動植物18種類を写真で示したもので(口絵2~4頁参照) それぞれをナレーションによって解説している(本文67頁参照)。その右側には 上の写真にも見られる「古生代の海」のジオラマがあり古生代の海底を想定して 同時代の化石から復元したウミユリ サンゴ 三葉虫を配し 背後のスクリーンにはハプトガニの生態ムービーが映し出される。さらにその右隣に見られるのが「中生代の海」(表紙および同説明参照)のジオラマである。詳細は本文62~69頁を参照されたい。(写真は山本洋一氏による)





オオサンショウウオ



オオサンショウウオの骨



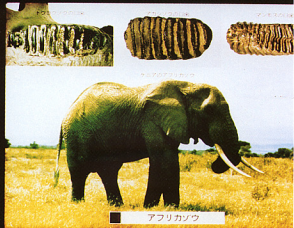
ユリノキ



クマゴケ



クマゴケの葉



アフリカゾウ



セコイア、メタセコイア



イシゴ



イリオモテヤマネコ



イリ

